



平成20年度

但馬産業大賞



平成21年3月

応募期間／平成20年10月1日から11月30日まで

審査委員会／平成21年2月13日

表彰式／平成21年3月18日

ごあいさつ



但馬県民局長
谷口 進一

但馬地域は、海・山・川など豊かな自然や歴史・風土に育まれた地域であり、地場産業をはじめ各種の産業が地域の発展を支えてきました。

また近年、コウノトリの野生復帰に向けた環境整備が行なわれ、放鳥コウノトリをシンボルとした交流の促進など、自然と共生する地域づくりやツーリズムが展開されております。さらには、高度な技術力に支えられた、金属加工やIT産業、エネルギー関連など多彩な産業も根付いています。

こうした幅広い産業の中でも技術力やアイデア等で県下はもとより全国に、さらには海外でもシェアを伸ばされている事業者が数多くあります。このような事業者の皆様方を顕彰させていただき、その存在を広くアピールするために、昨年度「但馬産業大賞」を創設させていただきました。

昨年からの世界的な景気低迷により、但馬の産業も大きく影響を受けております。当県民局におきましては、但馬地域の情勢に応じたきめ細かな施策を講じることにより、経済・雇用への悪影響を最小限に止め、県民生活の安定確保に努めているところですが、今回、受賞いただく皆様께서さらなる発展を遂げられ、地域経済を力強く牽引していただくことを願っております。

さて、今年度は多数応募いただいた中から厳正な審査の結果、11事業者の皆様へ受賞していただくことになりました。

受賞された皆様には心からお喜び申し上げますとともに、産業活性化のためますますご活躍いただきますよう期待しております。

講 評



審査副委員長
椿野 晴繁
(県立但馬技術大学校長)

本年度も、各市町や産業団体等からご推薦をいただきました。15の企業・団体等の中から、但馬県民局長を含め6名の審査委員による厳正なる審査の結果、11事業者の方が選出されました。

審査は独創的なこと、あるいは技術・手法が素晴らしいこと、地域への貢献度等色々な面から審査させていただきました。

まず、「キラリと世界へ輝く技術部門」ですが、各社とも素晴らしい技術を開発されており優劣つけがたく、5事業者の方が受賞という結果となりました。日本精機宝石工業(株)様は、レコード針が有名ですが、その技術を継承され、ダイヤモンドバー等の精密部品を開発されたことが高く評価されました。但馬ティーエスケイ(株)様は、冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発され、業界でも高く認められている存在であります。(株)オーク様は、環境問題となっている廃タイヤを利用した振動伝播阻止法を開発され、全国での技術採用が期待されています。(株)トキワ様ですが、健康にこだわった合わせ酢や梅飲料に加え、梨ワイン、但馬牛用ステーキ醤油等、地元食材を活かした商品開発が評価されました。吉田体機工業(株)養父工場様は、軽量で安全なジュラルミン製のトランポリンを世界で初めて開発され、今やトランポリンのシェアは50%を誇っておられます。

次に、「人と自然の共生する事業部門」ですが、(有)清美社様は地域一帯となって行われた環境教育活動や、さらに独自に開発されたバイオディーゼル精製法が評価されました。神鍋白炭工房様は、トロッコを利用した白炭の製造方法と装置を開発され、森林の間伐等により里山を維持されています。

次に、「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」ですが、但熊様は卵かけごはんの山の中の行列店として有名で、新たな観光振興の取り組みや地産地消のビジネスとして評価されます。但馬高原植物園様は、広い敷地と自生植物の豊富さはさることながら、園芸に関する指導などソフト面が評価されました。香住観光協会様は、全国初のカニ検定を実施され、先駆的な取り組みで地域をPRされています。湯村温泉若女将会ゆむらなでしこ様は、旅館業同士が連携し、使用済み食用油を再利用したエコキャンドルでイベントを開催する等、積極的な観光PR活動が評価されました。

以上、簡単に紹介させていただきましたが、但馬内には、こんなに素晴らしい企業等が沢山あることを実感いたしました。皆様が、今回の受賞をきっかけに、ますますご活躍いただきますよう祈念いたしまして、講評とさせていただきます。

但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名	
日本精機宝石工業株式会社	工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造
但馬ティエスケイ株式会社	冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発
株式会社オーク	廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発
株式会社トキワ	但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造販売
吉田体機工業株式会社養父工場	競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

受賞者名	
有限会社清美社	地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)
神鍋白炭工房 田沼茂之	白炭製造の省力化・量産化設備の開発

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名	
但熊 西垣源正	卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化
但馬高原植物園	17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園
香住観光協会	カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR
湯村温泉若女将 会 ゆむらなでしこ	旅館同士連携して、若女将会ゆむらなでしこを結成し観光PR

但馬産業大賞審査委員会委員名簿

機関名	役職	氏名	備考
工業技術センター	所長	北村 新三	委員長
県立但馬技術大学校	大学校長	椿野 晴繁	副委員長
(社)ひょうごツーリズム協会	専務理事	大西 信行	
(財)但馬ふるさとづくり協会	事務局長	間 為展	
兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター	所長	武田 和士	
兵庫県但馬県民局	局長	谷口 進一	

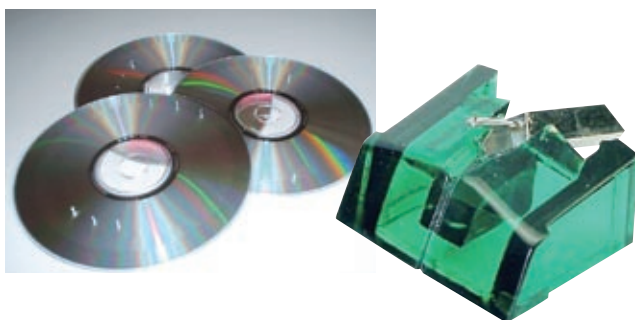


日本精機宝石工業株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を
独自に開発し、精密工具を製造

かつて地場産業であった縫い針「みすや針」の技術を継承させ、レコード針を製造、その独自技術を武器にして歯科用バー、ゲージコンタクト、DVD等光学式ピックアップクリーナー他先端的な製品を開発した。

2,200種ものレコード針に対応する国内唯一のメーカーで、技術があれば地方都市からでも世界に進出できることを実証した。



会社沿革

- 明治 6 年 仲川製針工場として縫い針製造を創業
- 昭和 41 年 宝石レコード針の総合生産を開始
- 昭和 48 年 ゲージコンタクトの設計・製造を開始
- 昭和 53 年 医療用具・歯科用ダイヤモンドバーを開発
- 平成 2 年 CDピックアップレンズクリーナー開発
- 平成 5 年 ダイヤモンド・ドレッサーの設計・製造を開始
- 平成 19 年 特殊高硬度処理を施したダイヤモンドバーを開発

会社住所

兵庫県美方郡新温泉町芦屋100
TEL 0796-82-3171
FAX 0796-82-4110

但馬ティエスケイ株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に
加工できる技術を開発

冷間鍛造により、切削なしで細径長穴の部品製造する工法を開発した。この技術力、生産性は業界でも高く評価され、自動車、建設機械分野に大きく拡大展開されている。

同社は自動車用リモートコントロールケーブル（遠隔操作システム）部品等を製造し、製品は国内全自動車メーカー、及び多くの海外自動車メーカーで使用されている。



会社沿革

- 昭和 48 年 会社設立
- 昭和 49 年 金属部品の生産開始
- 昭和 50 年 ゴム部品の生産開始
- 昭和 55 年 インナーケーブルの生産開始
- 平成 5 年 日本ケーブル・システム(株)の「TSK PM賞」を受賞
- 平成 10 年 本社事務所、現在地(桐野)に新築移転
- 平成 15 年 中国山東省に100%独資企業を設立

会社住所

兵庫県豊岡市出石町桐野1150
TEL 0796-52-2339
FAX 0796-52-5687



株式会社オーク

廃タイヤを利用した
振動伝播阻止法 (Ti-TAN工法) を開発

地盤に廃タイヤと芯材 (PHC杭や鋼管) からなるハイブリッド構造の防震材を地中に埋設し、防震壁を構築することで地盤環境振動を反射、吸収し低減する工法を開発した。

廃タイヤの再利用でコストも安く環境保全にもつながるため、大阪府茨木市内のモノレール沿線の防震工事採用され、この技術が全国へ拡大している。



会社沿革

- 平成 6 年 会社設立
- 平成 17 年 立命館大学と産学連携共同開発開始
兵庫県新産業創出支援事業補助認定
- 平成 19 年 豊岡市内にて実験施工
- 平成 21 年 岡山県にて仮設工として採用
大阪府にて本施工として採用

会社住所

兵庫県豊岡市寿町8-30
TEL 0796-24-5291
FAX 0796-24-4339

株式会社トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、
梅飲料等の製造販売

永年蓄積した発酵技術等を活かし、但馬の特産品であるカニすき用のダシ、香住梨を利用したワイン、但馬牛用のステーキ醤油など但馬ブランド商品を開発し全国に発信している。

合わせ酢やノンアルコールの梅飲料など、健康にこだわった同社の商品は、但馬を代表する名産品として成長することが期待される。



会社沿革

- 大正元年 創業・食酢製造
- 昭和28年 醤油製造開始
- 昭和49年 株式会社味含設立、水産加工開始
- 昭和60年 果実酒(梨ワイン)製造免許取得
- 平成 4 年 株式会社トキワに社名変更
- 平成13年 現在地(三谷)に工場移転

会社住所

兵庫県美方郡香美町香住区三谷735
TEL 0796-36-0127
FAX 0796-36-2694



吉田体機工業株式会社養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

創業以来積み重ねてきたスポーツ器具の製造技術を活かし、ジュラルミン製のトランポリンを世界で初めて開発した。大きく重量があるため取扱いが困難であったが、軽量化、折りたたみ構造を改良して安全な器具を完成させた。

トランポリン分野では国内50%のシェアを誇っており、オンリーワン企業を目指している。



会社沿革

- 昭和10年 吉田伊製作所として発足
- 昭和36年 吉田体機工業株式会社設立
- 昭和40年 養父工場建設
- 昭和50年 日本体操協会一級検定工場に認定
- 昭和53年 日本トランポリン協会検定工場に認定
- 昭和55年 日本バスケットボール協会検定工場に認定
- 平成18年 ジュラルミン製トランポリンを開発

会社住所

兵庫県養父市養父市場字猿岩17
TEL 079-665-0336
FAX 079-665-0727



有限会社清美社

地域一帯となったりサイクル事業
(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)

地元旅館飲料組合や消費者の会(みかたECO協議会)と連携して、廃油回収活動を実施、回収した廃油買取料金は上記協議会を通して地域の教育委員会等へ寄付し、環境教育・環境活動への関心を高めさせた。

また、廃水のでないバイオディーゼル精製法を独自開発し、氷点下でも使用できる燃料を実現した。



会社沿革

- 昭和28年 西村衛生社 衛生業務開始
- 昭和42年 (有)清美社設立(本店鳥取市)
- 昭和45年 本店を温泉町に移転
- 平成6年 兵庫県産業廃棄物収集、運搬業許可
- 平成20年 バイオディーゼル事業開始

会社住所

兵庫県美方郡新温泉町湯373
TEL 0796-92-0358
FAX 0796-92-1631

神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

白炭は燃やしても煙や炎が出ず、火持ちがよく火力の調節できる優れた燃料として、古くから活用されてきた。その白炭生産の省力化、量産化を図るため、トロッコを利用した製造方法と装置を開発した。

白炭の生産による森林伐採(除伐、間伐による手入れ)の実績が大きく増加し、環境面でも地域に貢献するとともに、観光資源としての活用も期待できる。



沿革

- 昭和25年 白炭の生産に従事
- 平成12年 1号窯完成
- 平成14年 ギャラリー開設、2号窯完成
- 平成19年 豊岡市から補助金を受け3号窯完成
- 平成19年 トロッコを利用した白炭の製造方法と装置を開発

住所

兵庫県豊岡市日高町栗栖野1
TEL 0796-45-1115
FAX 0796-45-0026



但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

過疎・高齢化が著しい山村集落において、卵かけごはん専門店「但熊」をスタートさせ、その懐かしさ、味わい等により全国各地から集客している。山の中の行列店として、年間7万人の来店を誇り、観光振興の取り組みとして評価される。

隣接する農産物直売所「百笑館」の売上げも増加しており、但馬ならではの地産地消ビジネスモデルとなっている。



店舗概要

平成18年 開店

メニューは卵かけごはんとおムレツのみで、生卵は食べ放題となっている。口コミで人気が広がり、土日になると1~2時間待ちとなるほど。現在では、年間7万人を超えるお客様を迎えている。

住所

兵庫県豊岡市但東町栗尾916
TEL 0796-55-0901

但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

兵庫県観光百選の1位にも選ばれている瀬川平にあり、樹木、草花の自生植物1,000種と、それに類する300種ほどの植物を見ることができる。但馬における人と自然のコラボレーションの貴重な成果といえる。

ひょうごガーデンマイスターを有し、各種講習会やガーデンショーを開催している。花と緑の活動や景観園芸の振興に取り組み、ソフト面の充実した植物園である。



施設概要

平成9年 開園

この植物園の特徴は「平地植物の上限、高地植物の下限、南方植物の北限、北方植物の南限」で、しかも湿度が高く植物にとって最適な環境を備えていること。

日量、5,000tの湧水や樹齢千年の大カツラを有しており、植生は極めて豊かである。

住所

兵庫県美方郡香美町村岡区和池709
TEL 0796-96-1187
FAX 0796-96-1188



香住観光協会

カニ検定を実施し、
「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

香美町は全国屈指の松葉ガニの水揚げ量を誇り、近畿圏で唯一ベニズワイガニが水揚げされる町である。全国初となるカニに関する検定を開催し、香住ガニ（ベニズワイガニ）の名を広め地域ブランド戦略を展開している。

検定には東は関東、西は九州まで全国から受検者が集まり、カニの町をPRするとともに香住ガニの名を全国に広めた。



カニ検定概要

平成19年10月14日(日)	平成20年10月19日(日)
第1回カニ検定実施	第2回カニ検定実施
受検者207名(合格者)148名	受検者102名(合格者)59名

実際にカニや魚を食して解答する問題や、漁法、食べ方、町の歴史や観光地など100問出題され、70点以上が合格。

住所

兵庫県美方郡香美町香住区七日市1-1
TEL 0796-36-1234
FAX 0796-36-3388

湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会ゆむらなでしこを
結成し観光PR

旅館同士が一丸となって、様々な活動が続けながら、湯村温泉や但馬のPRに貢献している。

廃油を再利用したエコキャンドルでイベントを実施したり、使用済み割り箸を回収して、リサイクル運動にも取り組む一方、温泉の泉質の良さをアピールするため、源泉を100%使った化粧水「湯顔」を企画・販売し好評を博している。



活動概要

平成18年	湯村温泉若女将会ゆむらなでしこ結成 観光イベント等へ参加、新企画を発売
平成19年	割り箸リサイクルの開始
平成20年	温泉水を利用した化粧水「湯顔」発売開始 廃油を利用したエコキャンドルを制作し、イベント参加

住所

兵庫県美方郡新温泉町湯98(温泉町観光協会内)
TEL 0796-92-2000
FAX 0796-92-2011

平成 19 年度 但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名	
株式会社 ビトーアールアンドディー	レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売
マルヨ食品 株式会社	但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発
中田工芸 株式会社	高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造、販売

区分 人と自然の共生する事業部門

受賞者名	
有限会社 夢大地	環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名	
但東町花卉球根園芸組合	特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化
農家民宿「八平だるま」能勢 勇	グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営
たけの観光協会	愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓
浜坂観光協会	歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成



兵庫県但馬県民局
地域振興部 商工労政課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL.0796-26-3685

20 但馬® 2-015A4